

朝学習と「新研究」を使った自学自習で、学習の習慣作りを

愛知県内の中学校では、3年生の入試対策学習の習慣作りのために、入試対策用の総まとめ教材と、総まとめ教材に連動したドリルが活用されている。朝学習でドリルをさせながら、それと連動した総まとめ教材を家庭での自主勉強としてさせることで、生徒に無理なく入試対策学習の習慣を定着させることができる。

県内の複数の学校で行われている、ドリル学習を軸にした学習の習慣作りの取り組みについて紹介したい。

使用されている教材

(教材名は弊社発行教材の場合)

朝学習用の教材としては「基礎のチェック／総復習30(25)」「自主勉強用教材」として「新研究」と「定着ノート(新研究ノート)」が使われている。

「基礎のチェック」は、入試対策用教材である「新研究」の付属ドリルで、「新研究」本誌の1単元目がドリルの1回目に対応し、本誌と同一の問題がドリルの問題の一部に含まれていることで、「新研究」本誌学習の確認ができる教材である。朝学習開始時期が早い場合は30回ものを、開始時期が遅い場合は25回ものが採用される。朝学習用教材はクラス全員採用で、自主勉強用教材は、生徒ごとの希望採用になる場合もある。

年間の学習の流れ

- ① 2年生の1月から2月ごろ…入試対策用教材の選定を行い、その年に使用する教材を決定する。
- ② 2年生の2月ごろ…保護者説明会にて、選定教材と活用方法の紹介を行う。
- ③ 2年生の2月後半～3年生4月ごろ…生徒に年間の学習計画表を配布し、朝のドリル学習と自主勉強を開始する。
- ④ 夏休み…それまで進んだところの振り返り学習や残った単元の一部を宿題として提示する。
- ⑤ 3年生の2学期末…朝のドリル学習を終える。

1日の流れ

- ① 年間の学習計画表を参考に、家庭学習として、翌日の朝のドリル学習で出題される範囲の自主勉強をする。「新研究」を購入した生徒は、解答用ノート(「定着ノート」または「新研究ノート」)を使って学習する。
- ② 始業前の10分間の朝学習にて、「基礎のチェック」の問題を解き、自己採点で答え合わせをして、担任の先生に提出する。「新研究」の学習をした生徒は解答用ノートもあわせて提出する。
- ③ 当日中か翌日の朝までに、担任の先生から解答用ノートが返却される。



取り組みの流れ(一例)

2年生の2月上旬

保護者説明会を実施
(朝のドリル学習の説明、
自主勉強用教材の紹介)



2年生の2月下旬ごろ

生徒に年間の学習計画表を配布
→使用開始

学年	月	日	科目	単元	回数
2	2	1	国語	1	1
2	2	1	数学	1	1
2	2	1	理科	1	1
2	2	1	社会	1	1
2	2	1	英語	1	1
2	2	1	総合	1	1
2	2	1	体育	1	1
2	2	1	音楽	1	1
2	2	1	美術	1	1
2	2	1	保健	1	1
2	2	1	家庭科	1	1
2	2	1	外国語	1	1
2	2	1	その他	1	1
2	2	1	合計		

前日までに、家庭で「新研究」
などを使って事前学習



朝学習の時間に
ドリル学習



担任の先生にドリルとノートを提出
→先生が検印後に返却



2年生の3月～3年生の12月

「基礎のチェック／総復習25」を使った朝のドリル学習の実施

採用校の先生の声

年間計画

- 朝のドリル学習と「新研究」学習は2年生2月から、3年生1学期中に15回までをやり、夏休みに16～20回までの1回目と、1～15回までの2回目をやるように言う。(3年学年主任・国語)
- 2年2月初めから実施し、3年12月には終わる。25回を採用している。(3年進路指導担当・社会)
- 2年生2月に「新研究」の販売と保護者会を行い、2月20日ごろからの学習計画表を配布。1単元目はお試して、学校でやらせる。3月末までに3単元、夏休みまでに20単元、3学期中に30単元まで終わるよう進めさせる。テスト期間は「新研究」学習を減らす。(3年学年主任・社会)
- 3年生4月から朝学習開始、7月末までに8回目までを終了。25回採用。(3年学年主任・数学)

学習の流れ

- 朝学習は10分間。問題と自己採点・回収・ノート回収もその時間内に行う。曜日で教科を割り振って実施。(朝学習実施校全て)
- 「新研究」購入者には、前日に「新研究」学習をやる効果的と伝える。それ以外の生徒にも他教材で同じ単元を振り返るよう伝える。(3年進路指導担当・社会)

「新研究」学習の管理・点検

- 「新研究」の解答用ノートは生徒が持つてくれれば点検する。購入を勧めるからには提出してもらいたい点検したい。(3年進路指導担当・社会)
- ノートを毎日提出させて、担任が点検。その日中か翌日朝までに返却する。(3年学年主任・社会)
- 10単元ごとに最終締め切り日を伝え、間に合わない生徒には、「居残り学習」をさせる。(3年学年主任・社会)
- 5教科の全単元表を提出するノートに挟ませ、担任はノートと単元表の両方に判を押す。全単元表を見れば、5教科の提出状況が一覧できる。(3年学年主任・社会)

成績・評価などの連動

- 全員が「新研究」を採用しても、「新研究」学習は進路対策が目的なので、成績には入れない。受験のための勉強は成績と切り分ける。(調査校全て)
- 朝学習用のドリルは、同一問題を定期テストに入れていく。(3年学年主任・国語)(3年学年主任・数学)
- 朝学習ドリルは定期テストの範囲に入れる。地理は特に3年生ではやらないが、ドリルで振り返り、さらに定期テストにも出るとなると、生徒も勉強してくれ、学習効果が高い。(3年進路指導担当・社会)

「中学セミナー」で学習のしかたを学び 自分で学習する習慣を身に付ける

福岡県北部の中学校では、近年、三年生の朝学習用教材として中学セミナーを採用する学校が増えている。先生方のねらいは、学習のしかたを学び自分で学習する習慣を身に付けさせること。

ある学校では、これまで朝学習で先生の自作プリントを実施していたが、今年度は先述のようなねらいに加え、先生の「働き方改革」の一助として、「中学セミナー」を採用。一日一シートの学習をスタートさせた。その方法について紹介する。

教材の形態

中学セミナーは、「問題シート」とそれに対応した「解説シート」「解答シート」の3シートがセットになっており、4セットで一つの講座になっているプリント教材である。基本はプリントだが、「解説シート」だけ綴じて「プリント集」として使用「や」「問題シート」を綴じて長期休暇用の宿題として使用」といった様々なご要望にお応えできる教材である。

この学校では、「問題シート」「解説シート」「解答シート」をそれぞれ一講座ごとに綴じて「ヒモでくくり、机の横に掛けて保管させている。そのため「家に忘れた」というようなことは発生せず、全員が必ず取り組める状況を作っている。

学校での学習の流れ

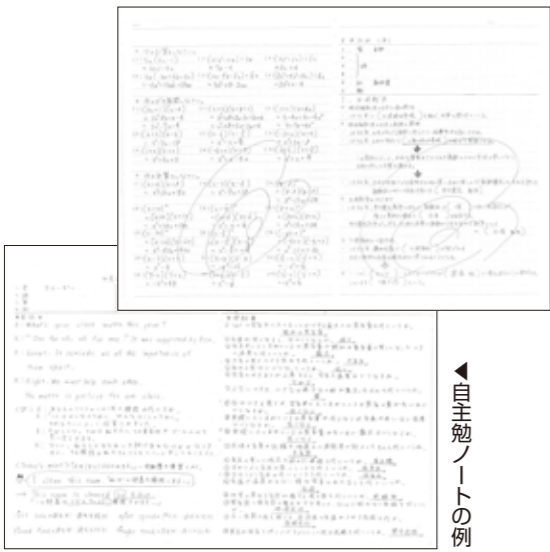
朝学習の目安は15分〜20分。配布された計画表に

したがって、各自のペースで取り組む。朝だけでは答え合わせまで終わらないので、昼休みなども利用して取り組んでいる。基本的には月曜から木曜まで同じ教材をシートずつで計画しているが、金曜日を予備日としていて、できていない分に取り組めるようにしている。

次の週の総合的な学習の時間などを利用し、前週に学習した教材の確認テストを実施。テストの結果はグラフにして返却することで、「中学セミナー」に取り組むモチベーションアップに努めている。

家での学習

三年生になると、宿題として「自主勉ノート」を毎日1ページ埋めて提出させている。最初、多くの生徒が「何をどう学習して書けばよいかわからない」状態であるが、「中学セミナー」の終わった講座を持って帰らせると、解説シートの内容をまとめ直ししたり、できなかった問題をもう一度解いたりすればよいことに気付く。「何をどうやって学習するか」「や」「学習する習慣」が身に付くようになる。

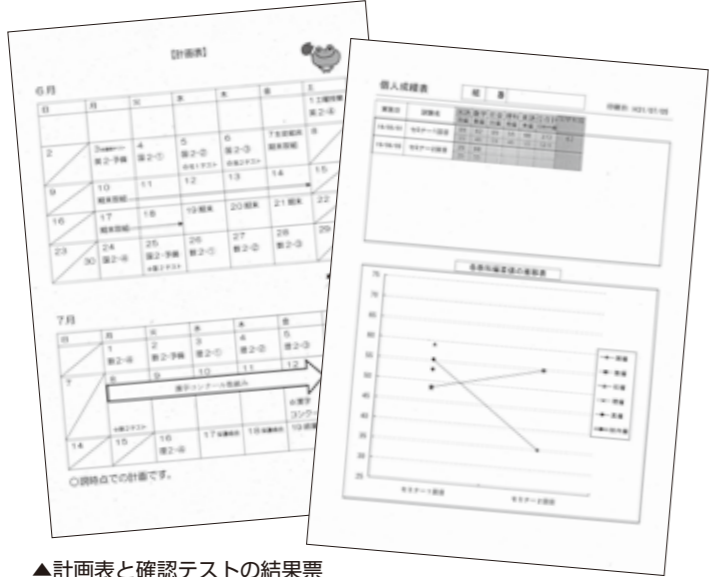


▲自主勉ノートの例



※この学校では講座ごとに綴じたものを採用し、ヒモでくくって机の横にかけて保管しています。

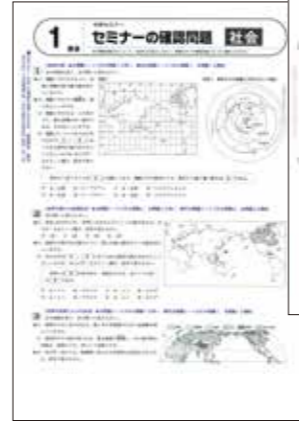
綴じても40ページの薄い冊子なので、ほとんど仕上げたときいき、達成感を得やすいです!



▲計画表と確認テストの結果票

中学セミナー

▼「セミナーの確認問題」各講座(4シート)の内容に対応した確認用テスト



▼解答シート



▲問題シート

◀解説シート

みなさんの学力を向上させるために、今年度から中学セミナーという教材に取り組みます。この中学セミナーはひとつの講座が930円もします。卒業までに7講座取り組むので、総額6,510円必要です。家族が毎日頑張ってくれ、支払ってください。お金の無駄状態にならないように活用し、成績が上がれば、家族もきっと喜ぶと思います。

◀学年最初に配布した進路通信。「中学セミナー」学習の動機づけを行っている。



採用校の先生の声

- 冊子だと家に忘れたら終わりですが、プリントだと毎回配れるので、全員が取り組めます。
- 一年生で学習した内容からしっかりと取り組めるのがいいです。
- 自主勉ノートに「解説シート」の内容をまとめ直してくる生徒が多いです。また、「解説シート」に(1)などと書いてあるところが「問題シート」で出題されていることに気付いてくるので、その部分を何回も書いて覚えている生徒もいます。
- 「問題シート」は答え合わせと採点までして提出させます。七割取れていない場合は、自作の補充プリントで復習させています。
- 国語の週、数学の週というように週ごとに教材を決め、月曜から木曜までの朝学習で同じ教材にシートずつ取り組んでいます。金曜日は確認テストの日で、テストも朝学習の20分で実施しています。
- 確認テストは一教科25分程度でできるので、一時間の授業の中で二教科ずつ実施します。
- 朝学習をいい加減にやっていた生徒が、第一講座のテストで思ったように点数が取れず、「このままではまずい」と真剣に取り組むようになりました。